



令和2年10月16日 立川市広報課

送付文書 計1枚

報道機関 各位

立川市立第五小学校 外国語の取組について

コロナ禍で、教育現場も明るい話題が少ない中、新学習指導要領の目玉である「外国語」の取り組みについて、本校外国語専科が行っている実践を、是非立川市及び多摩地区に広めたいと考えております。

学級担任ではなく専科になったことによって、校内における3年生以上の児童の学習状態や様子を把握しながら、系統的に世界の文化や言語に親しませながら、学習を進めることが出来るようになった。

また、ICTを使用して、海外の人と「リモート」で会話したり、お互いの国の文化を伝えあったりと、実際の交流を通して、英語を使うことに対する抵抗感を和らげると共に、英語を使うことによって自分の可能性が広がることを味わわせている。

さらに本校では外国語ルーム（専科教室）を設置したことで、児童が授業を受けに来室した際に、「外国語ルームに来たら英語を話す」という意識も高まっており、授業以外でも休み時間、放課後などに外国語ルームに来て、教師やALTと英語を話す児童が増えてきている。

このような取り組みを始めた本校の実践を是非、記事にいただき、立川市及び多摩地区の各小学校へ紹介していただきたい。

【問い合わせ】

立川市立第五小学校 担当：校長 藏重 佳治

外国語担当 坂井友里

TEL 042-523-5238